

蒜 ひがんむろ

放送大学公開講座二〇二六

のぞいてみよう 漢方薬の世界

「本草図譜巻之7.8,19.20,31.32」国立公文書館デジタルアーカイブ



谷口抄子先生
放送大学岡山学習センター客員
准教授。元岡山大学准教授。岡
山大学薬学部で薬用植物に含ま
れる成分の化学構造の研究と薬
用植物や生薬・漢方薬学分野の
教育、附属薬用植物園の管理に
あたる。本センターでは薬用植
物学や漢方薬学の授業やゼミを
担当。真庭なりわい塾一期生。



これから寒い季節をむかえます。「なんだか
風邪をひきそうだな」とゾクゾクしたら葛
根湯、という方も多いのではないですか
(私もそのクチです)。ところで、葛根湯は漢

方薬だと知ってはいても、何からできているのか、そ
れぞれの成分の薬効は何か、風邪のひきはじめによい
とされるのはなぜか、食後ではなく食前に飲むのはな
ぜか、ほかに薬局でさまざまな種類の漢方薬を目に
するけれど、どんな症状にどの漢方を使うとよいの
か、など疑問はつきません。

そこで、今年度の放送大学公開講座では、谷口先生
に、漢方や漢方薬について教えていただきます。

どうぞ一緒にください。〜司書U

11月28日(土)

午後1時30分〜3時

中央図書館 会議室

定員 20人

参加費 無料

申込み 中央図書館へ来館、

電話またはこちらから→

